

## 仙人通信 147 王岳(1623 m)

王岳は、西湖の北西・御坂山塊の西の三方分山と鬼ヶ岳の中間に位置する山である。

富士山への初冠雪そして青天が続くとの放送を聞き、紅葉を求めて西湖から鍵掛峠・王岳を廻るコースとした。西湖の西にある「いやしの里」の駐車場に車を置き、10軒程の藁葺屋根の古民家の裏から本沢川に沿って作られた林道からのスタートである。

30分程で大きな円柱状の水道用タンク、更に15分程進むと右手に「王岳・十二ヶ岳・鍵掛峠」を示す道標があり、登山道の始まりである。葉の長い白いノコンギクが1輪迎えてくれたのは、印象的であった。瀬音を左手に聞きながら、ジグザクのコースを進むと赤く染ったモミジ・黄色いブナやサクラの葉、そして緑のアセビがコントラストを付ける。治山用の白い大きな堰堤を沢水が音を立てて落ちる。40分程進むと青白い大きな岩盤が目目を塞ぐ。十二ヶ岳・鬼ヶ岳・王岳へと繋がる十二ヶ岳火山礫凝灰岩層でデイサイトを中心にした火山礫灰岩だそう。この岩盤を右に捲き進むと更に同じような岩盤である。コースは沢の詰めとなり、尾根に出る。右手に鬼ヶ岳が、左に鍵掛の峰が見えるようになる。白いノギクの中に花の盛りを過ぎ、実を付けたトリカブトの茎が目に着く。真赤な実のマユミも綺麗だ。

20分程で、「右：鬼ヶ岳・左：王岳」の道標である。30m程下ると鍵掛峠を示す四角い小さな道標だ。その先には、僅かに雲を棚引かせた初冠雪の富士山である(第一目標達成・・・)。ところで鍵掛峠は、先程の根場と芦川の鶯宿を結ぶ峠道とガイドにもあるが、落ち葉で埋もれ、コースの痕跡すら探せず残念だ。峠より低い鞍部を過ぎ20分程で、鍵掛(山)である。

富士山から天使ヶ岳・竜ヶ岳へ繋がる峰々、広大な富士のスロープが見事である。

眼下の西湖も空を映してコバルトブルーだ。駐車場に止めた小生の車も目視で確認できた。足元では、紫の lindou やトリカブトも元気である。ガマズミや棘のあるメギの赤い実が太陽の光を受けて綺麗だ。右手には、山並みの先に甲府の街並みが・・・その先には茅ヶ岳だ。ブナ・ツツジ・モミジ・ガマズミの紅葉で染まったコースは、鍵掛峠から55分で王岳の手前の峰に着く。このコースは、弧状を成し、十二ヶ岳や鬼ヶ岳そして御正体山までもが確認できる。この鞍部あたりから、細い茎のオオフジイバラの赤い実が多くなりズボンやシャツに刺さり痛い。20分程で、三角点の王岳の山頂である。視界は以外と狭く南側のみである。板場へのコースは、クマザサのヤブ漕ぎとあったが膝頭程の高さであり15分程でカラマツ林内のコースとなり、45分程で西入川側の林道へ下る事ができた。日当りの土手では、スキに加え黄色いホソバワダンや lindou も晩秋を告げてくれていた。誰にも会うことの無い、のんびりとした4時間40分、24000歩の山旅が出来ました。(h 28. 10. 28)

王岳(駐車場より)



王岳山頂



富士山

